



特別講演会

# バーチャルリアリティで マヤ文明の世界遺産 「コパンのマヤ遺跡」を巡る



マヤ文明を代表する都市遺跡であるホンジュラスのコパンは、20世紀初頭から「アメリカ大陸のアテネ」「マヤ文明のパリ」といった形容詞を付けられた学芸の都です。

金沢大学は2013年2月にコパン遺跡を管轄するホンジュラス国立人類学歴史学研究所と交流協定を結び、毎年、現地で調査研究活動を行うと同時に、大学院博士課程教育リーディングプログラムの現地研修も行い、コパンに研究教育拠点の形成を進めています。

今回の特別講義では、国際文化資源学研究センターが現地で行っている研究教育活動をご紹介しますとともに、世界遺産であるコパンのマヤ遺跡を最新のバーチャルリアリティ（VR）技術を使ってデジタルアーカイブ化した凸版印刷のご協力を得て、高精細VR映像によるコパン遺跡の散策を体験します。

日時：6月18日（木）第5限（16:30～18:00）

場所：人間社会第一講義棟 202 講義室

主催：国際文化資源学研究センター

協力：凸版印刷株式会社

問い合わせ先：国際文化資源学研究センター（076-264-5788）

